

令和8年度における事業経営についての目標

1 事業活動に関する指標・目標・行動計画

大阪市の中期目標では、当社の事業経営を通じて達成しようとする行政目的又は施策の具体的な内容として、「阪神港（大阪港及び神戸港）のうちの大阪港において、外貿コンテナの貨物取扱量を増大させること、また、フェリー航路数を維持すること」としている。

これを受けた当社の中期計画では、次のとおり取り組んでいくこととしている。

- ・ポートセールスの実施として、
集貨事業説明会やセミナーの開催
外航船社へ航路誘致等のためトップセールスを行う
- ・大阪港の施設高度化として、
ガントリークレーンの新設及び更新整備
ターミナル照明のLED化等のカーボンニュートラルポート形成支援
- ・フェリー航路数の維持策として、
大阪市が実施するフェリー振興策に対する協力
フェリー振興のためのPR実施

当社では令和8年度において、次のとおり事業活動を推進し、大阪市が求める目標の達成を目指していく。

指標Ⅰ：集貨事業施策への新規申請件数

令和8年度	
目標	8件
行動計画	・集貨事業説明会やセミナーの開催 阪神港の集貨事業などの取り組みを船社や荷主等に向け紹介する説明会やセミナーを開催 ・外航船社へ航路誘致等のためトップセールスを行う

指標Ⅱ：ガントリークレーンの新設・更新の整備事業進捗度

令和8年度	
目標	・ガントリークレーン2基の新設（C12—5、6）
行動計画	・ガントリークレーン1基の設置工事（C12—5） ・ガントリークレーン1基の製作工事（C12—6）

指標Ⅲ：ターミナルのカーボンニュートラルポート推進事業進捗度

令和8年度	
目標	・ターミナル照明（C2、C4、C8、C9）及びガントリークレーン（全体）のLED化整備完了 ・ターミナル建築施設のZEB認証取得に向け、改修設計を実施（C9）

	(※R 7 年度の C 9 についての可能性検討調査の結果により判断) ・ターミナル建築施設の Z E B 認証取得に向け、可能性検討調査を実施 (C 9 以外) (※R 7 年度の C 9 についての可能性検討調査の結果により判断)
行動計画	・ターミナル照明の L E D 化整備を完了 (C 2、C 4、C 8、C 9) 及び、ガントリークレーンの L E D 化整備を完了 (全体) ・Z E B 化に向けた改修設計を実施 (C 9) (※R 7 年度の C 9 についての可能性検討調査の結果により判断) ・Z E B 化に向けた可能性検討調査の実施 (C 9 以外) (※R 7 年度の C 9 についての可能性検討調査の結果により判断)

指標Ⅳ：大阪市が実施するフェリー振興策に対する協力回数

令和 8 年度	
目標	4 回
行動計画	●大阪市が実施するフェリー振興策に対する協力 (2 回) 大阪市が実施するフェリー振興である市民を対象とした大阪湾クルーズやフェリーセミナー (船内見学) への協力を行う。 ●フェリー振興のための P R 実施 (2 回) ・大阪市・神戸市・堺泉北埠頭 (株)・当社の 4 社共同でフェリー振興のための P R を実施する。 ・大阪市と共同でフェリー振興のための P R 活動を実施する。

2 財務運営に関する指標・目標・行動計画

1 に示した大阪市が当社に求める目標の達成をはじめとし、当社の事業活動を安定的に推進するために、次のとおり財務運営に関する取組みを進めていく。

指標

自己資本比率

目標

自己資本比率 10%以上の確保

行動計画

港湾運営会社のメリットである無利子貸付金制度を活用しながら積極的な経営を行う一方で、収入の維持拡大、コストの削減、資金繰り等を計画的に行うことで安定的な会社経営を目指すこととし、今後も国際競争力強化のために積極的な投資を行っていく中で、投資と利益のバランスを考え、一定の財務規律を維持し、自己資本比率 10%以上の確保を目指す。